

調査研究実績

論文等

【自然分野】

- ・ 船戸智, 2016, 薬草とわたしたちの暮らし –平成27年度岐阜県博物館秋季特別展より–. 日本共生科学会・論文集.
- ・ 船戸智, 2016, パターン把握を通して環境リテラシーを高める現職教員研修プログラムの作成. 科学研究費・研究成果報告書, 23-24.
- ・ Azuma, Y., Xu, X., Shibata, M., Kawabe, S., Miyata, K., Imai, T., 2016, A bizarre theropod from the Early Cretaceous of Japan highlighting mosaic evolution among coelurosaurians. *Scientific Reports* **6**, 20478.
- ・ Kawabe, S., Matsuda, S., Tsunekawa, N., Endo, H., 2015, Ontogenetic shape change in the chicken brain: implications for paleontology. *PLOS ONE* **10** (6), e0129939.
- ・ 河部壮一郎, 2015, 地球科学入門講座「CTを用いた化石研究～古神経学入門～」. 地球科学 **69** (4), 241–248.
- ・ Matsui, K., Kawabe, S., 2015, The oldest record of *Paleoparadoxia* from the Northwest Pacific with an implication on the early evolution of Paleoparadoxiinae (Mammalia: Desmostylia). *Paleontological Research* **19** (3), 251–265.
- ・ 河部壮一郎. 2015. 鳥類の脳形態を決定づける主な要因について. 化石研究会会誌 **47** (1), 2–10.
- ・ 説田健一, 2016, 柳原要二が明治後期から昭和初期に収集した鳥類標本について. 生物学史研究 **94**, 45-48.
- ・ 説田健一, 2016, 山階鳥類研究所の靱山鳥類コレクションから見つかった柳原要二との交換による鳥類標本. 山階鳥類学雑誌 **48**, 16-28.
- ・ Hattori, S., 2016, Evolution of the hallux in non-avian theropod dinosaurs. *Journal of Vertebrate Paleontology* **36**(4), e1116995.
- ・ 河部壮一郎・北山浩生・服部創紀, 2016, 型取りによる透明恐竜頭骨模型の開発. 福井県立恐竜博物館紀要 **15**, 85–92.

【人文分野】

- ・ 守屋靖裕, 2015, 常楽寺蔵 木造宝冠釈迦如来坐象. 國華 **121**(1), 61-64, 25.
- ・ 南本有紀, 2017(刊行予定), 「寒水の掛踊」の記録作成と調査研究事業報告書. 郡上市伝統文化活性化実行委員会(事務局: 郡上市教育委員会社会教育課). ※分担執筆
- ・ 山田昭彦, 2017, 特別展を核とする、県内各地での関連展示の展開について. 博物館研究 **52**(1), 29-31.

学会発表等

【自然分野】

- ・ 説田健一, 2015, 岐阜県内の高等学校と大学に保管されていた戦前の鳥類の本剥製について. 日本鳥学会2015年度大会.

- ・説田健一, 2015, 柳原要二が明治後期から昭和初期に収集した鳥類標本について. 2015年度生物学史分科会「夏の学校」.
- ・説田健一, 2015, 調査グループ名: 岐阜県博物館, サイト名: 岐阜県百年公園. 里やま市民活動交流会 in 三重.
- ・Shibata, M., Kawabe, S., Jintasakul, P., Azuma, Y., 2015, Preliminary Report of the Endocranial Anatomy of Thailand Iguanodontian. The 2nd International Symposium on Asian Dinosaurs, Bangkok.
- ・Matsui, K., Kawabe, S., Endo, H., Kobayashi, S., Tsuihiji, T., 2015. Quantitative analysis of aquatic adaption in olfactory and optic characters in the skull of Carnivora. Society of Vertebrate Paleontology 75th Annual Meeting, Dallas.
- ・河部壮一郎, 2016, 秩父盆地中新統産カツオドリの神経解剖学. 日本古生物学会第165回例会.
- ・柴田正輝・河部壮一郎・プラトゥエン ジンタサクル・東 洋一・宮田和周, 2016, イグアノドン類の脳の復元. 日本古生物学会第165回例会.
- ・小池翔子・河部壮一郎・佐藤正明・岡本 隆, 2015, 3Dプリンタを用いた異常巻きアンモナイト理論形態の実体化. 第15回日本地質学会四国支部総会・講演会.
- ・Hattori, S., 2016, Homologies of pedal muscles between avian and non-avian reptiles as a basis for their reconstruction in fossil archosaurs. Society of Vertebrate Paleontology 76th Annual Meeting, Utah.
- ・服部創紀・對比地孝亘, 2017, 獣脚類 *Herrerasaurus ischigualastensis* の足部筋肉系の復元, 日本古生物学会第166回例会, 東京.
- ・服部創紀, 2016, 化石主竜類における足部筋の進化史解明に向けた 現生爬虫類における足部筋の相同関係の解明, 日本古生物学会2016年年会, 福井.
- ・河部壮一郎・北山浩生・服部創紀, 2016, 魅せる恐竜の脳 ~型取りによる透明模型の開発~, 日本古生物学会2016年年会, 福井.
- ・説田健一・中尾喜代美, 2016, 石河熙香が比律賓ダバオで採集した鱈の剥製について, 2016年度生物学史分科会「夏の学校」, 奈良.
- ・説田健一, 2016, 柳原要二が大正14年(1925)から昭和3年(1928)に購入した折居彪二郎の剥製について, 日本鳥学会2016年度大会, 札幌.
- ・須山知香・可児美紀・田中俊弘・高橋 弘, 2017, 地域植物誌に欠かせない地域植物標本庫の存続戦略, 日本植物分類学会第16回大会, 京都.
- ・井上好章・可児美紀, 2016, 5 mひもを使って、簡易ベルトトランセクト法を取り入れた植物観察「長良川の上流、中流、下流の植物観察」を例として, 日本理科教育学会第62回東海支部大会, 名古屋.

【人文分野】

- ・山田昭彦, 2016, 中近世の木曾川をめぐる問題—美濃・尾張の国境と治水. 第23回名古屋地理学会・岐阜地理学会合同シンポジウム, 名古屋.